

グローバル・アクティブ・プログラム（GAP）について

平成 25 年 4 月より福岡大学は、多数のグローバル中堅人材の育成を目的として、大学独自でグローバル人材育成推進事業を開始した。事業の大きな柱の一つがグローバル人材育成を目的とした教育プログラム、グローバル・アクティブ・プログラム（GAP）の設置・実施である。現在、全 9 学部の 3 年次までの学生が対象であるが、順次高年次にも適用していき、平成 27 年度からは学部生全員が対象となる。また、大学院生を対象とすることも検討予定である。

GAP には、通常の授業科目と同様に、所定の履修時間と受講回数を要する単位付きの GAP 科目と、履修時間や受講回数が一定でない、単位を伴わない GAP 講座がある。

GAP は各学部の学士課程とは別に設置されており、一部の GAP 科目を除いて、各学部生は GAP 科目を登録・履修できるが、取得単位は卒業に必要な単位数に算入することはできない。GAP 講座を受講するためには、GAP 履修生となる必要がある。所定の条件を満たすように GAP 科目を修得した GAP 履修生は GAP 修了と認定され、卒業時に GAP 修了証が授与される。

(1) GAP 科目

平成 25 年度に開始された GAP には 25 科目の GAP 科目が設置され、そのうち 16 科目が今年度開講され、残りは来年度以降に開講予定である（資料 A）。

1、2 年次に配置された基礎科目群では、海外に目を向け、必要な準備を行った後に、「アジア現地研修」や「グローバル・イングリッシュ」により、海外で現地研修や語学研修を行う。2、3 年次の国際教養科目群では、文化・歴史や経済・産業などの国際教養の他、ディベートやレポート・プレゼンなど海外の大学で必要なスキルを学ぶ。多くは英語による授業である。さらに、高年次で学部教育の専門性が高くなった時点で、学部の科目あるいはプログラムによる海外での修学機会を想定し、留学・海外研修科目群に GAP 科目「留学」、「海外インターンシップ」を設置した。また、最後に GAP 修了のための必修科目として「GAP 総合演習」を設置している。

(2) GAP 講座

GAP では語学力とともにコミュニケーション能力を向上させることも大きな目標とし、GAP 科目の他に GAP 講座を開講している。GAP 講座は単位を伴う科目ではなく、コミュニケーション能力養成講座、グローバル対応力育成講座、Interactive English、TOEIC 講座、EAP 講座などを適宜組み合わせる教育プログラムであり、海外研修前に短期集中的（数週間）に行うことを想定している。1 日 2 コマ 3 時間程度の学習を課し、H24 年度後期は 7 週間のプログラムを試行、H25 年度前期は 3 週間のプログラムを 2 クラス開講、今年度は、「グローバル・イングリッシュ」による海外研修前に、GAP 講座の受講を義務付けている（資料 B）。

○コミュニケーション能力養成講座

①コミュニケーション能力育成ワークショップ

②英語によるドラマメソッド講座

発声練習やアイスブレイキング、身体表現を重要視した講座。英語による演劇。

○グローバル対応力育成講座

①グローバル対応力育成講義

グローバル人材に必要な skill・mind・knowledge を講義形式で学習

②グローバル対応力育成ワークショップ

留学生とのディスカッションやプレゼンテーション

○英語力育成講座

①Interactive English

学習者相互と留学生 TA とのインタラクション重視

明快かつ論理的な構造に富む会話、スピーチ、ディスカッションの訓練

②EAP 講座 (EAP・・・English for Academic Purposes)

心理・化学・物理・法律・言語などアカデミックな英語の学習体験

③TOEIC 講座

スコアアップのためのテクニック指導・パート別演習・模試

④e-learning 教材学習 (Newton)

(3) GAP 履修生と GAP 修了

GAP には GAP 履修生という特別な資格を設けている。「アジア現地研修」あるいは「グローバル・イングリッシュ」を履修登録または修得すると、自動的に GAP 履修生として認定される。それとは別に、△印のついた選択必修科目（海外留学等科目）以外の GAP 科目を 2 科目以上修得した者は、GAP 履修生になるために認定申請をすることができ、GAP 科目の評価や履修状況等により、GAP 履修生としての認定が判断される。GAP 履修生は、語学力やコミュニケーション能力の向上に役立つ e-learning 教材の利用や GAP 講座の受講ができる。

GAP 履修生が、△印のついた選択必修科目（海外留学等科目）から 1 科目以上修得し、必修科目「GAP 総合演習」を含め 10 単位以上の GAP 科目(△印のついた選択必修科目を除く)を修得した場合、GAP 修了と認定し、卒業時に GAP 修了証を授与する。GAP 修了のための必修科目「GAP 総合演習」では、語学力、コミュニケーション能力、グローバル対応力などを総合的に評価するが、特に英語力については、TOEIC650 点以上が修了のための要件である。

国際センターに所属する専任教育職員の業務

(1) 教育 - GAP 科目・GAP 講座の担当

GAP 講座を主に担当する。通常の科目 3 コマ分程度に相当する GAP 講座の担当を前期・後期それぞれ想定している。また、「グローバル・イングリッシュ」の他、「Academic Skills for Abroad」、「留学準備 II」など英語による GAP 科目も半期に 1～2 科目担当する。

(2) コーディネート - GAP 科目・GAP 講座のコーディネート

GAP 科目・GAP 講座の教育内容・方法の検討の他、シラバスチェック・他の担当者との連絡調整・時間割作成など、GAP 科目・GAP 講座の運用に関する業務を行う。学部の教務委員・学科の教務係の行う業務に相当する。また、GAP 科目「グローバル・イングリッシュ」、「アジア現地研修」については、現地での研修内容・日程の検討・調整、研修先教員との打合せなどの業務を言語教育研究センターと共同で行う。

(3) 調査・研究 - グローバル人材育成を目的とする教育の開発・調査・研究

コミュニケーション能力など、グローバル人材として特に必要とされる能力を向上させるため、GAP 科目・GAP 講座の教育内容・方法や教材の開発・調査・研究に当たる。